

創世会
山田浩司



山田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



**学校給食における地産地消を
どのように行っていくか**

Q 現在、燃料費や給食の原材料費が高騰している。今後の原材料費の高騰が続いた場合、学校給食における地産地消をどのように行っていくのか見解を伺う。

**協議会と連携し、地産地消の
推進に取り組む**

A 地産地消は、食べ物の大切さや生産者への感謝などが醸成され、子どもの食育にとつて、とても大切であると考えています。今後も、掛川市地産地消推進協議会と連携するなどして、地産地消の推進に取り組んでいきます。

学級用タブレット端末の導入を

Q 子どもたちに一人一台タブレット端末が配付されたことにより、各家庭からのリモート授業が進んでいる。市内小中学校全学級への学級用タブレット端末を導入す

べきと考えるが見解を伺う。



小学校タブレット端末授業

**タブレット端末の確保へ向け
て準備を進めていく**

A 学校では、新型コロナに関係する長期欠席者だけでなく、不登校児童生徒などへもリモート授業を行っています。子どもがどこにいても学習保障ができるリモート環境は、今後ますます必要と考えます。また、授業支援ソフトの導入により、タブレットの使用頻度も増えるため、端末の確保について準備を進めていきます。

【その他の質問事項】

・県庁本庁機能分散化について

新しい風
松浦昌巳



松浦議員のすべての
一般質問が視聴
できます



**シニア世代が活躍できる体制
づくりを**

Q シニア世代が積極的に自治活動に参加し、シルバー人材センターなどスキルを活かした仕事などをしながら、もっと社会に参画していかないと暮らしたいと思いがいかがか。



**活躍できる機会の創出と高齢
者への意識啓発に努める**

A 地域活動の参加へのきっかけとなる情報発信や活躍できる場づくりを進めていきます。シルバー人材センターについても、若いシニア層の入会も促せるよう、市として支

援していきます。高齢者の社会参加の促進のため、活躍できる機会の創出と、高齢者への意識啓発に努めていきます。

有事と捉えた茶業振興計画は

Q 茶振興計画を前倒しして見直しを行った「掛川茶未来創造プロジェクト」の柱の部分とこれを推進していくために特に重視する点を伺う。

**持続可能な新たな流通構造の
構築に取り組む**

A 生産者、茶商社及び市民を対象にしたアンケート調査から、「生産」「流通」「消費」の3本を柱に全方位的な施策を定めています。経営の安定化には、持続可能な荒茶取引環境として「茶業版フェアトレード」の整備が急務と考えます。生産者の持続可能な経営を担保する新たな流通構造の構築に向け、生産者、茶商社、農協と連携して取り組めます。